

第11号
(3月)
2014年3月1日

七里ヶ丘こども若者支援研究所 それが社会参加だ



鎌倉市七里ヶ浜東2-31-12
09072124055
qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp
発行編集責任者 滝田衛

京都嵯峨野三千院

「いじめない 共に生きる学校から社会へ(2月23日)」いのちを愛おしく参加86人

みんなが幸せに平和に暮らせるまちを(会員・対談者:永野亜由美さん)

お忙しいなか、こども若者応援団の講演会に来てくださった方々、吉田市長、安川県会議員、長谷川市会議員、竜馬におまかせメンバー、横須賀創造空間メンバー、Facebook友達、車友達、アンガージュマン関係の皆様、スタッフメンバーの皆様、そして篠原夫妻と滝田先生!!!誠にありがとうございました(*^^*)!!!スペシャルサンクスです!!!いじめは、これから先も決してなくならないでしょう。でも、不登校や引きこもりのみんなが、のびのびと生き生きとすごしやすい、暮らしやすい環境を整えていく、これも良いまちづくりではないのでしょうか?と、私は最後にくらせていただきました。イベントで地域活性化も大変すばらしいことですが、こういうナイーブな部分も含めて、みんなが幸せに平和に暮らせるまちを私は望みます。(会員 永野亜由美) ※(注)小森新一郎・美登里ご夫妻も臨席くださいました。



篠原宏明さんの講演では涙をこらえることができませんでした(会員:新井信子さん)



「いじめない 共に生きる学校から社会へ」と題する講演会に行ってきました。よくTVでお見かけする小森さんご挨拶されましたが、何より篠原さんの講演では涙をこらえることができませんでした。生々しい実体験をご夫婦で語ってくださった事は本当に重く受け止めることが出来ました。体験者と言われる永野さんが「あの時滝田先生に出会わなかったら、私はここにいません」と言われた時には鳥肌が立つ思いでした。そして「不登校の子達がいそいそびのび出来る環境をつくる事はまちづくりの一つではないか」との提言には拍手でした。市長さんにお聞かせ出来ず残念(笑)。本日の発表者及び主催団体の方々に心からの感謝を申し上げます。そしてコーディネーターの小幡さんご苦労さまでした。(会員:新井信子さん) ※(注)横須賀市教委・学校長・教員・こども青少年課等ご参加くださいました。

地域の居場所の重要性を 石井利衣子事務局長(NPO法人アンガージュマン・よこすかグループ)NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事の篠原宏明さんの講演、いじめを経験された当事者の若者と篠原さんご夫妻との対談、そして、ピアノ、フルート、琴の演奏が行われました。ジェントルハートは、いじめによる自死でお子さんを亡くされた保護者の方が設立した団体です。篠原さんもお子さんを亡くされた経験を踏まえ、「いじめは、こころとからだに対する暴力です。いじめは人の権利・生きる力を奪う、決して許されない行為である。」とお話されました。そして「真の加害者は、子どもたちを追いこんでいる大人だ」という指摘もなされました。対談に登壇したいじめを経験した若者も、小学校時代に経験した心ない言葉が、どれほどの鋭さで心に刺さったのかを語ってくれました。また、自死をした子どもたちの残したメッセージが篠原さんによって読みあげられた時には、胸に迫るものがありました。過酷な経験をうかがって締めつけられた心を、ピアノとフルート、琴の音色が包んで、講演会は終了しました。現代社会のひずみが、子どもたちを締めつけ、様々なゆがみとなって現れているのだとしたら、地域の中で子ども・若者の居場所の必要性が、ますます重要だと痛感しました。



鎌倉 七里ヶ浜東自宅に降る雪

コラム風 暴風雪が2週続けて日本列島を襲った。3週目は免れたが雪の力はすごい。雪国のように慣れているかどうか? ではない。外を歩くことが出来ない。雪の重みに建物がつぶされる。車のスリップはもちろん、人も滑って転びケガをする。三浦半島でも農家さんのハウスが雪でつぶされている。自然の驚異は、地震や台風・竜巻だけではない。しかし人の協同はこういう時に思いがけない展開となる。雪がやみどりが差してくると、玄関や道路の雪かきへと人を誘う。道に境界はない。互いに雪をかき分けていると、自然とお互い様の気持ちとなる。そしてさらにその先の道路へと共同が進む。あつという間10人ぐらいの集団となる。また高齢化が進む昨今、出てこれないお家を気遣ってその家の玄関の雪かきが始まる、誰とはなしに。そういう行動をしていると雪もまんざらではない。人が自然の前で共同するのは、いつの時代も同じだ。国境だ外国人だ共同しない昨今の悪風を嘆きながら、雪かきの心地よい風を実感した。東日本大震災から丸3年、風化させない気持ちだ。

大人の本気 真矢さんの命 県市“いじめ防止条例(仮)”に息を吹き込んで

今回の講演会の動機、それは3年前の篠原真矢さんの自死、中3生だった。その時、僕は神奈川県教育委員会学校フリースクール等連携協議会で話した遠い記憶がある。また昨年5月上記協議会会長職を去る時に、いじめ問題に言及した挨拶をした。なぜならば、大津(2011年10月11日)そして大阪(2012年12月22日)での中高校生の自死は、背景にいじめ・体罰事件があり学校や関係者の不誠実な対応が遅まきながら分かってきたからだ。未来を生きるこども若者が、自らの手で命を絶つ。本当に後を絶たない。何て切なくやるせないことだ。そして常にそうだが、友に教師に学校に原因がある。「死を選ぶ弱い子」「親の育て方」が原因ではない。何かに突き動かされ、解決を求めて。いや、誤解を恐れずに言えば、自分であの世へ持っていくとする“強者”の論理が見え隠れするように感じる。自分だけの世界を抱える、自己責任と言う名の魔物を。

昨年夏、講演会で真矢さんの父親、篠原宏明さんのお話を聞く機会に恵まれた。国の「いじめ防止対策推進法」9月施行を受けて神奈川新聞社が企画したものである。改めて父親である篠原さんの語られた言葉で「いじめを超える」時代の要請を感じた。弱い子だ、病気だ、障害だとの理解しない偏見で「いじめ・自死」を葬ろうとする学校と社会に、真正面から受け止める大人の力を見せる時なのだ。自死を持っていじめを解決しようとする、その心持から解放する。死を持ってあがなおうとする発想の呪縛から、こども若者を解き放つことだ。いじめる人が、いじめを傍観する人が、いじめを防止できない大人が、そして何も取り組めない学校や社会、僕を含めて問題なのだ。いじめを受ける“あなた”の「態度」や「性格」が問題ではない。自分を責めないでほしい。この社会の在り様、「友と仲よく」「学校へ行かなければ」等の社会圧で自己嫌悪感を抱いてしまう、現代人の課題なのだから。優しすぎる平和的な“あなた”こそ大切にされる社会であって欲しいから、生きて欲しいのです。(滝田衛)

連載すぐそこにあること3

「幸せのものさし」

新井秀浩33歳 某通信制大学在籍中

※2月号より「すぐそこにあること」のタイトルで連載執筆。通算5回

最近滝田さんからサプライズのようにここでの連載を設けてもらったり、バレンタインデーにはネットで仲良くなった女の子から義理チョコを貰ったりと33年間生きてこれほどいいことが重なることはなかった。そして、連載の話聞いたときには飛び跳ねて喜び、また33年間恋人がいない僕にとって義理チョコでもなんでも好意をよせている女の子からチョコを貰える話を聞いた時は、ああチョコが届いたらそれを抱きしめて飛び降りようかと思うほど嬉しかった。(バカですな笑) ひきこもりで最もつらかった時期にはいつも飛び降りることしか頭になかった。しかしその時は飛び降りる気力のかけらもなかった。そこでよく考えてたことが僕にはあって人間の寿命はせいぜいもって100年、どーせ人生苦しいことが多く幸せなんてほんのちょっとしかないから、これからいいことがあってもまた苦しいことに直面するんだろーなーと考えていた。だから、終わりよければすべてよしということわざがあるように、一番幸せだと思えるときに飛び降りよう決めていた。しかし今、連載の件やチョコもなんだか話を聞いた時の高揚感がない。むしろ連載も特別、書くことがないし、チョコも、もともと甘い物が好きじゃない僕には食べきれないしどうしようかと思っている。僕のこの気持ちだったら、この先どんなにいいことがあってもそれが当たり前になりそうだなと思う。



講演会で挨拶する筆者

一方で、この当然となる感覚が少しわかってきた今、どんなに辛い状況でも見方や考え方を変えれば幸せはすぐそこにあるのではないかと。一番つらかった時期でも明日の食事を心配するような経済状態ではなかつたし、父親がローンで苦しみぬいたちょっとした邸宅？があった、と今なら思える。

人生いいことばかりじゃないのは身にしみてわかってる。今後再び人生の谷間に落ちた時には、短絡的に飛び降りようと思わないようにしようかと考えている。でもまー落ち込むときは落ち込むし、人生なるようにしかならないのだから、あんまり難しく考えるのはなんだかめんどくさいなーと思えるようになった。多少人生観(というが大袈裟だが)が変わってきて生きづらさみたいなものがなくなってきたのかなと思っている。

それぞれの風コーナー

○無事に試験受けることができました。月曜日面接頑張ります(Hさん) ○朝、なんとか起きたので、(公立高校)受験することが出来ました。結果より、受験できたことをうれしいと思っています。温かい励ましのお手紙ありがとうございました。(続き)こんばんは。昨日、無事に面接を受けることが出来ました。結果がでたらご連絡いたしますが、面接まで受験できましたので取り急ぎご報告させていただきます(Hさん母)

○おはようございます。土曜日はお忙しい中をありがとうございました。息子があんなに話をするなんて驚きました。滝田さんが帰られてからも「あまり慣れてない人とも話ができたと」言っていました。そのあと、みんなで出かけて外食しました。帰宅すると、アマゾンの不在票が入っていました。いつもは私が電話するのですが、「不在票が入っていました」と言うだけだからと言うと、自分で電話しました。すごく進歩しています。ありがとうございました。次回もよろしく願います。(Kさん)



2・23講演会チラシ

相談は右の日程でご連絡ください。時間は10時～16時でお願いします。訪問は日程調整します、往復の時間も必要です、ご相談ください(土曜日も訪問は受け付けたいと思います)。応援団会議は横須賀市市民活動センター午後2時～4時です。ご参加を	3月の開所日程(駐車場あります)			
	3日(月)	相談	17日(月)	休業 ※私用
	6日(木)	相談 予約済み	20日(木)	相談
	10日(月)	相談	23日(日)	pm2応援団会議
	13日(木)	相談	24日(月)	相談 予約済み